



講演会シリーズ「On the table」

私の作ったこの1冊

—— 作者・編集者にきく ——

第30回『赤いボタン』ができるまで

講師：写真家 岡本 央 氏

特別ゲスト：大月書店 編集 森 幸子氏

2026年8月22日（土）14:00～15:30

※今年度より開催時間を変更しておりますので、ご注意ください。

場所：板橋区立中央図書館 1階図書館ホール（板橋区常盤台4-3-1）

定員：40名（事前申込・先着順）

1945年8月9日午前11時2分、長崎に原爆が投下されました。

当時3歳だった竹下 芙美さんは、爆心地から7キロ離れた村に疎開していましたが、終戦後に長崎に戻って入市被爆しました。『赤いボタン』は、自らが長崎原爆の体験者である芙美さんが続ける原爆被害者の遺骨や遺品収集の様子と、芙美さんの願いを伝える写真絵本です。

戦後81年目になる今だからこそ、手に取っていただきたい1冊です。

今回は、本作の作者で写真家の岡本 央氏を講師、編集を担当された大月書店 編集者の森 幸子氏を特別ゲストにお迎えし、『赤いボタン』ができるまでの制作秘話を、たっぷりと語っていただきます。



▲『赤いボタン』
岡本 央／写真・文
大月書店

■ 参加申込方法

8月3日（月）午前9時より、以下のサイトにて申込受付を開始します（先着順）。

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/oshirase/2000980.html>

■ 問い合わせ 板橋区立中央図書館 電話 03-6281-0291



主催 板橋区立美術館・板橋区立中央図書館